

平成29年度 進路だより

わくわくワーク 第2号

平成30年1月12日
富山県立しらとり支援学校

寒い日が続きますが、皆さまにおかれましては穏やかな新春をお過ごしのことと思います。今回は、2学期に行われた本校の進路支援に関する活動についてお知らせします。

「先輩こんにちは」 平成29年9月28日(木)

本校卒業生を招き、一般企業、就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所での仕事の様子やグループホームでの生活について話を聞きました。高等部の生徒たちは真剣に話を聞いたり質問をしたりして、有意義な時間を過ごすことができました。

＜先輩の話より＞

○仕事をしていてうれしかったこと

- ・掃除をしてきれいになったとき
- ・自分の好きな仕事ができるとき など

○給料の使い道

- ・携帯電話料金の支払い
- ・スポーツ観戦のチケットの購入
- ・貯金 など

○ストレス解消法

- ・好きな音楽を聴くこと
- ・食べること
- ・楽しいことを思い出すこと
- ・友達と話すこと など

○しらとりで学んだこと

- ・目上の人に対する言葉遣いや挨拶
- ・いろいろな作業の体験 など

先輩方の仕事について紹介します。

＜平成26年度卒業生Aさん＞

【勤務先】 かんぼの宿 富山(一般企業)

かんぼの宿の浴室や食堂、フロア、客室の清掃やベッドメイキングなどの仕事をしています。職場の上司の方からは、「真面目に黙々と仕事をしている。最近、自分で分かって判断できることが増え、任せられる仕事が増えてきている。若くて体力もあるので、頼りにしている。」とされています。

＜平成28年度卒業生Bさん＞

【勤務先】 株式会社 WAWA 分々 (就労継続支援A型事業所)

ダンパーの組み立てやマット貼りなどの仕事をしています。清掃などで外部作業に出ることもあるそうです。職場の方からは、「就労してから5か月余りであるが、“働く”ということに対する自覚が出てきた。仕事がきれいで速く、集中力が素晴らしい。」とされています。

＜平成27年度卒業生Cさん＞

【勤務先】 社会福祉法人フレンドリー会 フレンドリーハウス (就労継続支援B型事業所)

段ボールの組立て、のり付けなどの仕事をしています。職場の方からは、「職場の雰囲気明るくしてくれる。仕事は大変真面目で積極的に仕事をしているところが良い。」とされています。また、グループホームでは、「好きな音楽を聴いたり仲間と過ごしたりする時間が楽しい。」と答えてくれました。

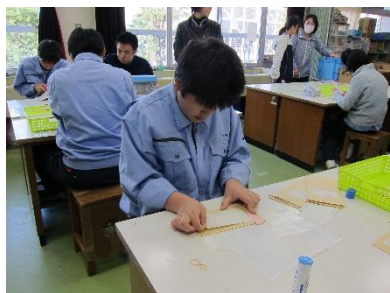
第2回高等部就業体験

1年生

校内就業体験（リサイクル班での取組）

校内就業体験はいつもの作業班と異なり、特設班（ワーク班、リサイクル班、農作業班、軽作業班、リテーナ班）で行いました。

リサイクル班は製作班と回収班に分かれて取り組みました。



＜実習の様子 担任より＞

新聞とちらしのごみ袋作りと再生封筒作りをしました。

まず丁寧に作業することを意識して取り組み、その後は製作数を増やすことを目標に集中して取り組むことができました。

＜実習の様子 担任より＞

アルミ缶はプルタブ外しと潰し、ペットボトルはラベルはがしや潰しの仕事に取り組みました。目標数を意識して取り組みました。



2年生

株式会社TOP2 ほまれの家 大久保店

＜内容＞チラシ折り・フィルターの袋詰め

＜実習の感想より＞

ちらしの三つ折りやフィルターの袋とじの仕事をしました。

始めは難しかったけど、毎日続けることでうまくできるようになりました。担当の方からたくさん褒めてもらいうれしかったです。



特定非営利活動法人 ひまわり

＜内容＞部品数え・タオル畳み

＜実習の様子 担任より＞

部品数えやタオル畳みは長時間の立ち仕事でしたが、最後まで集中して取り組みました。

担当の方からは「指示通りに仕事ができているで大変良いです。」と言われました。

3年生

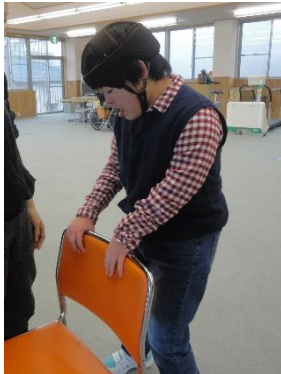
株式会社 G&G

＜内容＞PCデータ入力

＜実習の感想より＞

正確に入力すること、担当の方の話をしっかり聞くことに気を付けて取り組みました。

卒業後はブラインドタッチを覚えることを目標に頑張りたいと思います。



社会福祉法人 ラッコハウス

＜内容＞歩行訓練 音楽活動

＜実習の様子 担任より＞

訓練士さんと一緒に立ち上がる練習や室内歩行をしました。

音楽活動では、楽器を次々とかごから出して、いろいろな音を鳴らして楽しみました。他の利用者さんとも一緒に落ち着いて過ごすことができました。

高3進路学習会 平成29年12月8日(金)

富山市障害者福祉センターの基幹相談支援室相談支援専門員、松本卓也さんをお招きし、高等部3学年進路に関する学習会を行いました。松本さんには、高等部3年の生徒と保護者を対象にお話をいただきました。

保護者が参加した講義「卒業後の生活について」では、卒業後の進路先(一般企業への就労・福祉サービス事業所への就労)とそれに伴う相談機関や支援の受け方について、また障害支援区分と受けられる福祉サービスについてなど幅広く話をいただきました。そして、20歳から受給資格がある障害基礎年金の受給における注意点などもお話いただきました。

生徒対象の進路学習会では、進路別に2グループに分かれて話をいただきました。卒業後の生活について、生活習慣や挨拶、お金の管理、困ったときの対処など、働くために必要なことを分かりやすくお話をいただきました。生徒たちは、「困ったときは家族など身近な人や相談支援専門員の方に相談すればよい。」ということが分かり、自分の夢を発表したり積極的に質問をしたりして、卒業後の生活について考える有意義な時間となりました。



「プロの技術を学ぼう」(中学部) 平成29年11月10日(金)

外部人材活用促進事業により、中学部作業学習の窯業班でプロの陶芸家を招いた授業を実施しました。

講師は、県内の公共施設で展示会をされている、「陶工房 野村」(上市町)を主宰する陶芸家、野村瑞穂さんです。今年度は2回来校していただき指導を受けることとなります。第1回目は、「板づくり」の技法を教えてもらいました。

麺棒で粘土を伸ばして板状にし、その隅を曲げてお皿を作るという内容でした。普段と異なる製作方法に生徒たちは新鮮な驚きや喜びを感じつつ、製品の細部にまで気を配るプロならではの技術指導を真剣に受けていました。

第2回目の1月19日には、教えていただいた「板づくり」の技法からコップを製作する予定です。次回、野村先生に見ていただくことを励みにして、学習の中で「板づくり」を復習し、生徒たちの働くことへの意識をさらに高めていきたいと思えます。



窯業のプロに「板づくり」から皿を作る技術を教わる中学部の生徒たち

卒業生特集～アフターケア～

本校では、高等部卒業後3年間、アフターケアとして卒業生の進路先を定期的に訪問しています。これは、家庭や関係支援者と連携し、進路先への定着を図ることを目的としています。今回は、頑張っている卒業生の様子を紹介します。

宅配業に就職したDさん(平成27年度卒業生)

朝5時30分からの勤務ですが、遅刻や欠勤なく毎日通勤しています。任された仕事は責任を持って取り組んでおり、職場の人から頼りにされています。

自立訓練事業所を利用しているEさん(平成28年度卒業生)

洗濯物畳みの作業だけでなく、同一法人の中のパン作りの事業所に行き、パンやお菓子を作っています。ショートステイにもチャレンジしています。

生活介護事業所を利用しているFさん(平成26年度卒業生)

毎日休まず通い、タオル畳みやシュレッダーの作業を続けてやっています。移動支援のサービスを使って、週1回プールに行くなど余暇活動も充実しています。